



不動産事業における取り組み

分譲マンション『ファインシティくずは』

当社はサステナビリティの視点を大切に、人と地球にやさしいまちづくり事業を目指しています。分譲マンション『ファインシティくずは』では、以下の点に取り組みました。

免震構造

免震構造を採用したことで、地震による躯体の損傷を低減し、建物の長寿命化が期待されます。建物を長寿命化し、スクラップアンドビルドのサイクルを伸ばすことで、地球環境へ及ぼす負荷を軽減させることができます。

高耐久コンクリート

構造体に大規模補修不要予定期間約100年⁽¹⁾の高耐久コンクリートを採用しました。免震構造と併せて採用することで相乗効果が生まれ一層の長寿命化が期待されます。

日本建築学会「建築工事標準仕様書JASS5」に示された理論値です。なお、建物のメンテナンス(外装材の大規模補修など)が100年間不要という意味ではありません。

SI(スケルトン・インフィル)住宅

建物のスケルトン(柱・梁・床等の構造躯体)とインフィル(住戸内の内装・設備等)を分離したSI住宅を採用しました。スケルトンは長期間の耐久性を、インフィル部分は住まい手の多様なニーズに応じて自由に変えられる可変性を重視しています。



ファインシティくずは南東側全景

ひらかたパークの取り組み

当社の遊園地「ひらかたパーク」では、環境に配慮した運営を行っています。園内では、緑を大切にしつつ、積極的に植樹を行っています。また、分別ゴミ箱を設置し、ペットボトルや空き缶などの資源ゴミリサイクルを進めています。園内飲食店から排出する食品ゴミは、生ゴミ処理機で大幅に減量しています。周辺への騒音にも配慮し、環境と地域にやさしい遊園地を目指しています。

緑化推進

前面道路と連続的な植栽計画をすることで、緑豊かで開放的なランドスケープを実現しています。

雨水の有効利用

雨水を有効利用した自動灌水システムを採用し、マンションを彩る植栽への水やりに活用しています。

くずはモール、賃貸ビルにおける取り組み

当社が手がけるくずはモール(平成17年4月オープン)では、その企画段階から環境に配慮した仕様・技術を取り入れており、屋上緑化による緑地面積の確保や太陽光発電設備および氷蓄熱式空調システムの導入による運営エネルギーの低減に取り組んでいます。

また、くずはモールのような新規物件のみでなく、既存ビルの設備更新の際においては、空調設備・衛生設備・電気設備の仕様を環境配慮という観点からも見直しを図り、積極的に省エネ機器の導入を検討しています。



太陽光発電パネル



発電の表示



観覧車



ゴミ箱

平成18年、枚方市主催のCO₂削減環境イベント「ブラックイルミネーション2006inひらかた」に参加し20時～22時の間、観覧車の照明を消灯しました。今年も参加を予定しています。